

---

# 玄海原子力発電所周辺環境放射能調査結果

---

令和7年度 年報

(令和7年4月～令和8年3月)

令和8年5月

佐 賀 県

# 目 次

1 目的 .....	1
2 実施機関 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査項目 .....	1
5 調査及び評価の方法 .....	2
6 調査結果及び評価 .....	4
(1) 空間放射線 .....	4
(2) 環境試料中の放射能 .....	9
(3) 大気浮遊じん中の放射能 .....	15
添付資料 .....	16
参考資料 .....	43

## 1 目的

佐賀県と九州電力株式会社では、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」に基づき、周辺地域住民の安全確保と周辺環境の保全のため、玄海原子力発電所周辺の環境放射能調査を実施している。

また、この調査は、玄海原子力発電所からの放射性物質放出を検知した場合あるいはその可能性が否定できない場合に、その影響による被ばく線量を推定するためにも実施するが、これまでに玄海原子力発電所の影響による放射線等の異常は確認されていない。

なお、我が国における原子力施設周辺の平常の環境放射線モニタリングを規定している「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（平成30年4月、原子力規制庁）においては、平常時の環境放射線モニタリングの目的について、「原子力施設の平常時の周辺環境における空間放射線量率及び放射性物質の濃度を把握しておくことにより、緊急時モニタリングに備えておくとともに、原子力施設の異常を早期に検出し、その周辺住民及び周辺環境への影響を評価すること」とされており、具体的には次の4項目に集約されている。

- ・ 周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価
- ・ 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- ・ 原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- ・ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

本調査は、年度ごとに上記4項目を網羅した調査計画を策定し、実施するものである。

## 2 実施機関

佐賀県：環境センター、唐津保健福祉事務所、東松浦農業振興センター、  
玄海水産振興センター  
九州電力株式会社：玄海原子力発電所

## 3 調査期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで（令和7年度）

## 4 調査項目

### （1）空間放射線

- ア モニタリングポスト（NaI(Tl)シンチレーション式検出器）
- イ モニタリングポスト（電離箱式検出器）
- ウ 放水口モニタ
- エ 走行サーベイ

## (2) 環境試料中の放射能

- ア ガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析
- イ 放射化学分析による放射能測定
  - ① 放射性ストロンチウム分析
  - ② トリチウム分析

## (3) 大気浮遊じん中の放射能

- ア 大気浮遊じんの連続測定
- イ 大気中の放射性ヨウ素濃度の測定

## 5 調査及び評価の方法

平常時には空間放射線、環境試料中の放射能及び大気浮遊じん中の放射能の各調査を実施する。今年度調査する項目の平常の変動範囲は次表のとおり設定する。

なお、前年度のデータ収集がない調査項目については平常の変動範囲を設定しない。

調査項目	評価対象データ	平常の変動範囲	変動範囲設定のためのデータ収集期間
空間放射線量率 (NaI(Tl)シンチレーション式検出器)	1時間平均値	地点ごとの測定値の平均値(M) ±標準偏差( $\sigma$ )の3倍の範囲	過去3か年
空間放射線量率 (電離箱式検出器)	1時間平均値	地点ごとの過去の最大値	測定開始～前年度
放水口計数率	1時間平均値	地点ごとの測定値の平均値(M) ±標準偏差( $\sigma$ )の3倍の範囲	過去3か年
環境試料中の放射能	$^{60}\text{Co}$ 、 $^{131}\text{I}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{90}\text{Sr}$ 、 $^3\text{H}$ の放射能濃度	試料ごとの過去の放射能濃度範囲	測定開始～前年度
大気浮遊じん中の放射能	$^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ 、 $^{131}\text{I}$ の放射能濃度	過去の放射能濃度範囲	測定開始～前年度

測定結果が平常の変動範囲を超過した場合、次の原因調査を行い、玄海原子力発電所からの影響の有無について判断する。その結果、玄海原子力発電所からの影響があったと判断した場合には、玄海原子力発電所からの影響分の外部被ばく線量又は内部被ばく線量の推定を行う。

### (原因調査項目)

- ・ 試料採取方法・処理方法、測定器の性能、測定方法等の測定条件の変化
- ・ 降雨、降雪、雷、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化
- ・ 核爆発実験等の影響
- ・ 医療・産業用の放射性同位元素等の影響
- ・ 原子力施設の運転状況の変化

## (1) 空間放射線

次のアからエの検出器又は測定方法により、空間放射線量率等の連続測定を行い、測定データについては、テレメータシステムによる収集、解析を行う。

### ア モニタリングポスト (NaI(Tl)シンチレーション式検出器)

空間放射線量率の連続測定、テレメータシステムによる測定データの収集、解析を行い、玄海原子力発電所周辺の空間放射線量率の変動を把握する。

### イ モニタリングポスト (電離箱式検出器)

空間放射線量率の連続測定、テレメータシステムによる測定データの収集、解析を行い、緊急時への備えとして玄海原子力発電所から 30km 圏内の平常値を把握する。

### ウ 放水口モニタ

放水口計数率の連続測定、テレメータシステムによる測定データの収集、解析を行い、玄海原子力発電所から放出される排水中の放射性物質の濃度変化を計数率として把握する。

### エ 走行サーベイ

走行サーベイ車又はモニタリングカーで走行しながら空間放射線量率の測定を行い、緊急時への備えとして玄海原子力発電所から 30km 圏内の平常値を把握する。

## (2) 環境試料中の放射能

次のア及びイの分析方法により、環境試料中の放射能測定を行い、各試料の放射能の平常値の把握、玄海原子力発電所からの影響の有無等について評価を行う。

### ア ガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

環境試料中に含まれる放射性物質の量を把握するため、ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析を行う。

### イ 放射化学分析による放射能測定

環境試料中に含まれる放射性物質の量を把握するため、①放射性ストロンチウム分析法、②トリチウム分析法による放射能測定を行う。

## (3) 大気浮遊じん中の放射能

次のア及びイの測定方法により、大気浮遊じん中の放射能測定を行い、平常値の把握、玄海原子力発電所からの影響の有無等について評価を行う。

### ア 大気浮遊じんの連続測定

ダストサンプラにより大気を一定期間連続吸引し、ろ紙上に大気浮遊じんを採取し、ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析を行い、大気浮遊じん中に含まれる放射性物質の平常値を把握する。

### イ 大気中の放射性ヨウ素濃度の測定

ヨウ素サンプラにより大気を連続吸引し、活性炭カートリッジ及びろ紙上に大気浮遊じんを採取し、ゲルマニウム半導体検出器又はヨウ素モニタにより放射性ヨウ素の測定を行う。

測定結果は、緊急時への備えとして玄海原子力発電所から 30km 圏内の放射性ヨウ素の平常値を把握する。

## 6 調査結果及び評価

令和7年度の調査結果については、一部の測定において、平常の変動範囲の上限値を超過するものがあり、要因調査を行ったところ、海水中のトリチウムについて、玄海原子力発電所からのトリチウムの放出との関連が考えられた。

その他の調査においては、玄海原子力発電所からの影響があったと考えられる結果は確認されなかった。

### (1) 空間放射線

#### ア モニタリングポスト (NaI(Tl)シンチレーション式検出器)

NaI(Tl)シンチレーション式検出器によるモニタリングポスト(10局)での空間放射線量率(低線量率)の1時間平均値の連続測定結果は、次表のとおりであった。各局で平常の変動範囲の上限値を超えたものがあったが、いずれも降雨の影響によるものであり、玄海原子力発電所に起因すると考えられる放射線の異常は認められなかった。

(単位:nGy/h)

局名	令和7年度 線量率範囲	令和7年度 年間平均値	令和7年度 平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因	
			(M-3 $\sigma$ )	(M+3 $\sigma$ )			
県 設 置 局	今村	26 ~ 83	30	18	41	226 (2.59)	降雨
	平尾	32 ~ 81	34	24	45	211 (2.41)	降雨
	串	30 ~ 82	33	23	43	219 (2.50)	降雨
	先部	29 ~ 84	32	21	43	218 (2.49)	降雨
	外津浦	30 ~ 69	33	25	41	205 (2.34)	降雨
	京泊先	29 ~ 78	32	23	41	209 (2.39)	降雨
九 電 設 置 局	正門南	23 ~ 59	25	17	33	260 (3.00)	降雨
	岸壁	21 ~ 53	23	15	30	228 (2.63)	降雨
	値賀崎	20 ~ 47	22	16	28	209 (2.41)	降雨
	ダム南	22 ~ 60	24	16	32	244 (2.82)	降雨

イ モニタリングポスト（電離箱式検出器）

電離箱式検出器によるモニタリングポスト（26局）での空間放射線量率（高線量率）の1時間平均値の連続測定結果は、次表のとおりであり、立花局で過去の最大値を超えたものがあったが、降雨の影響によるものであり、玄海原子力発電所に起因すると考えられる放射線の異常は認められなかった。

（単位：nGy/h）

局名	令和7年度線量率範囲	令和7年度年間平均値	過去の最大値	平常の変動範囲を超えたデータ数	超えた要因
今村	61 ～ 113	64	134	0	
平尾	65 ～ 112	68	134	0	
串 <sup>(注1)</sup>	60 ～ 96	65	137	0	
先部	65 ～ 116	69	135	0	
外津浦	63 ～ 100	66	114	0	
京泊先	64 ～ 110	67	126	0	
屋形石	62 ～ 100	65	118	0	
大良	73 ～ 119	77	136	0	
諸浦	61 ～ 112	65	133	0	
入野	60 ～ 116	63	139	0	
寺浦	61 ～ 109	66	131	0	
名護屋	65 ～ 127	69	149	0	
石室	60 ～ 99	63	132	0	
加倉	61 ～ 110	64	137	0	
呼子	70 ～ 111	73	123	0	
馬渡島 <sup>(注2)</sup>	57 ～ 120	66	128	0	
加唐島 <sup>(注2)</sup>	70 ～ 129	73	135	0	
向島 <sup>(注2)</sup>	64 ～ 109	67	124	0	
小川島 <sup>(注2, 3)</sup>	60 ～ 150	70	157	0	
二夕子 <sup>(注2)</sup>	70 ～ 118	74	131	0	
山本 <sup>(注2)</sup>	74 ～ 128	79	152	0	
波多津 <sup>(注4)</sup>	70 ～ 113	75	131	0	
田野 <sup>(注2)</sup>	72 ～ 132	80	147	0	
相知 <sup>(注5)</sup>	66 ～ 102	72	139	0	
松浦 <sup>(注6)</sup>	56 ～ 109	71	149	0	
立花 <sup>(注2)</sup>	72 ～ 137	77	135	1	降雨

（注1）串局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和6年7月3日からの測定値を評価から除外しており、令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

- (注2) 馬渡島局、加唐島局、向島局、小川島局、二太子局、山本局、田野局、立花局は、令和8年3月に電離箱検出器を半導体検出器に更新したため、更新前の電離箱検出器による測定値を評価している。更新期間中は可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。
- (注3) 小川島局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年7月4日から予備の電離箱検出器により代替測定を実施。
- (注4) 波多津局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年3月19日から予備の電離箱検出器により代替測定を実施し、令和7年7月3日からは可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。
- (注5) 相知局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和6年7月26日から可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。
- (注6) 松浦局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年6月18日から可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

ウ 放水口モニタ

放水口モニタ(3局)による計数率の1時間値の測定結果については次表のとおりであり、平常の変動範囲の上限値を超えたものがあったが、降雨の影響によるものであり、玄海原子力発電所に起因すると考えられる放射線の異常は認められなかった。

(単位:cpm)

局名	令和7年度 計数率範囲	令和7年度 年間平均値	令和7年度 平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因
			(M-3σ)	(M+3σ)		
九電設置局 1,2号放水口	434 ~ 933	456	407	513	76 (0.88)	降雨

(注1) 「1,2号放水口モニタ」は「3号及び4号放水口モニタ」より計数率の変動が大きい。これは、3号機及び4号機は水深約10~13m から海水の取水を行っているのに対し、1号機及び2号機が海面~水深約9m から取水を行っていること、また、「3号及び4号放水口モニタ」は放水管から放水を取り出し、建屋内で測定しているのに対し、「1,2号放水口モニタ」は屋外の放水口(海中)で測定していることから、降雨などによる環境放射線の変動の影響を受けやすいためと考えられる。

(単位:cpm)

局名	令和7年度 計数率範囲	令和7年度 年間平均値	令和7年度 平常の変動範囲			平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因
			期間	(M-3σ)	(M+3σ)		
九電設置局 3号放水口	347 ~ 402	361	4月~6月	351	375	0 (0.00)	—
			7月~3月	350	374	74 (1.19)	降雨
九電設置局 4号放水口	365 ~ 417	379	4月~6月	367	394	20 (0.95)	降雨
			7月~3月	365	398	11 (0.18)	降雨

(注2) 3号放水口モニタは令和7年2月21日に検出器を更新したため、更新後の平常の変動範囲は4~6月については、令和7年2月21日~令和7年3月31日

7~3月については、令和7年2月21日~令和7年6月30日 の期間から算出している。

(注3) 4号放水口モニタは令和7年3月7日に検出器を更新したため、更新後の平常の変動範囲は

4~6月については、令和7年3月7日~令和7年3月31日

7~3月については、令和7年3月7日~令和7年6月30日 の期間から算出している。

エ 走行サーベイ

走行サーベイ車又はモニタリングカーによる空間放射線量率の連続測定結果は、次表のとおりであり、過去の測定と同程度であった。

(単位:nGy/h)

測定地点	令和7年度 線量率範囲	令和7年度 平均値	測定 年月日	測定結果		測定機器 (調査機関)
発電所周辺道路 (発電所から 5km未滿)	20 ~ 37	25	R7. 6. 4	最小値 20 平均値 23 最大値 31	NaI(Tl)シンチレ ーション式検出器 (九州電力株)	
			R7. 12. 15	最小値 22 平均値 27 最大値 37		

(単位  $\mu$  Sv/h)

測定地点	測定結果	測定 年月日	測定機器 (調査機関)
発電所周辺道路 (発電所から 5km~30km)	全て0.20未滿 (参考:測定値範囲0.03~0.06)*	R7. 4. 16	CsI(Tl)シンチレ ーション式検出器 (環境センター、唐津保健福祉事務所)
		R7. 5. 22	
		R7. 5. 26	
		R7. 7. 1	
		R7. 8. 21	
		R7. 9. 1	
		R7. 10. 27	
		R7. 11. 17	
		R7. 12. 9	
		R8. 2. 19	
		R8. 2. 25	
R8. 3. 4			

\*高線量域を対象とした測定器であり、精度保証範囲外(0.20  $\mu$  Sv/h未滿)は参考値とした。

(2) 環境試料中の放射能

ア ガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

ガンマ線スペクトロメトリーによる環境試料中の放射能測定結果は下表 a から d のとおりであり、いずれも平常の変動範囲内にあった。

なお、一部の試料から、主に過去の大気中の核実験の影響によるものと考えられるセシウム 137 ( $^{137}\text{Cs}$ ) が検出されたが、検出された放射性物質の量はいずれもごく微量であり、健康へ影響を与えることはない。

a 農畜産物・植物

(単位:Bq/kg 生 ただし牛乳は Bq/L)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因	
葉菜	たまねぎ (外皮を除く)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND	無	
	きゃべつ (根を除く)	1	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		1	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		1	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		1	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND	無	
	ほうれん草 (根を除く)	3	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		3	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		3	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		3	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.48	無	
	牛乳	牛乳 (原乳)	10	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無
10			$^{131}\text{I}$	ND	ND ~ 0.072	無	
10			$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
10			$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.29	無	
穀物	米 (精米、玄米)	4	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		4	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		4	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.33	無	
指標生物	松葉 (葉のみ)	6	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		6	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		6	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		6	$^{137}\text{Cs}$	ND ~ 0.037	ND ~ 4.1	無	
その他	ばれいしよ (表皮を含む)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.30	無	
	みかん (外皮を除く)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.074	無	
	かんしよ (全体)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.15	無	

## b 海産生物

(単位:Bq/kg 生)

試料名		試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
魚	たい (全身)	4	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		4	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		4	$^{137}\text{Cs}$	ND ~ 0.084	ND ~ 0.48	無	
	かわはぎ (全身)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.19	無	
	えそ類 (全身)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	0.13, 0.15	ND ~ 0.52	無	
無脊椎動物	いか (全身)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.26	無	
	さざえ (身)	1	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		1	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		1	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.37	無	
	なまこ (全身)	2	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		2	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		2	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.19	無	
海藻類	わかめ (全藻)	1	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		1	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		1	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		1	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.33	無	
指標生物	ほんだわら類 (付着器を除く)	4	$^{60}\text{Co}$	ND	ND	無	
		4	$^{131}\text{I}$	ND	ND	無	
		4	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		4	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.19	無	
その他	むらさき いんこがい (身)	1	$^{60}\text{Co}$	ND	ND ~ 0.22	無	
		1	$^{134}\text{Cs}$	ND	ND	無	
		1	$^{137}\text{Cs}$	ND	ND ~ 0.039	無	

## c 水

(単位:mBq/L)

試料名		試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
陸水	水道水	9	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		9	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	
		9	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		9	<sup>137</sup> Cs	ND	ND	無	
	河川水	6	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		6	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	
		6	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		6	<sup>137</sup> Cs	ND	ND	無	
	ダム水	2	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		2	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	
		2	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		2	<sup>137</sup> Cs	ND	ND	無	
海水	表層水 (放水口付近)	10	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		10	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	
		10	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		10	<sup>137</sup> Cs	ND ~ 2.1	ND ~ 11	無	
	表層水 (取水口付近)	10	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		10	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	
		10	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		10	<sup>137</sup> Cs	1.4 ~ 2.1	ND ~ 11	無	

## d 土

(単位:Bq/kg 乾)

試料名		試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
土壌	表層土	17	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		17	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		17	<sup>137</sup> Cs	ND ~ 8.9	ND ~ 43	無	
	ダム底土	2	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		2	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		2	<sup>137</sup> Cs	4.4, 4.7	ND ~ 20	無	
海底土	表層土 (放水口付近)	6	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		6	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		6	<sup>137</sup> Cs	ND	ND ~ 0.67	無	
	表層土 (取水口付近)	6	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
		6	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
		6	<sup>137</sup> Cs	ND	ND ~ 3.0	無	

(注 1)ND…検出下限値未満を示す。

(注 2)試料数が 2 以上で測定結果が範囲を示していない試料は、測定結果がすべて同一値である。

(注 3)昭和 61 年度に測定した環境試料の測定値については、旧ソ連原子力発電所事故(昭和 61 年 4 月 26 日発生)の影響を受けているものがあるため、平常の変動範囲は昭和 61 年度分を除いたものを記載している。

(注 4)平成 23、24 年度に測定した環境試料の測定値については、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の影響を受けているものがあるため、平常の変動範囲は平成 23、24 年度分を除いたものを記載している。

イ 放射化学分析による放射能測定

① 放射性ストロンチウム分析

環境試料中の放射性ストロンチウム ( $^{90}\text{Sr}$ ) の測定結果は下表 a から d のとおりであり、九州電力が採取し測定を行った海底土の 1 試料 (3、4 号放水口付近表層土) について、平常の変動範囲を若干超過した。

そのため、平常時の変動範囲を超過したときの原因調査を行ったところ、測定条件や自然条件の変化、医療・産業用の放射性同位元素等の影響、原子力施設の運転状況の変化は確認できなかったことから、検出された放射性ストロンチウムは主に過去の大気中の核実験の影響によるものと考えられた。

なお、検出された放射性物質の量はいずれもごく微量であり、健康へ影響を与えることはない。

また、佐賀県環境センターと九州電力との測定結果の En スコア比較 (クロスチェック) において、測定結果は妥当であることを確認している。

a 農畜産物・植物

(単位:Bq/kg 生)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
葉菜 ほうれん草	1	$^{90}\text{Sr}$	ND	0.035 ~ 1.3	無	
牛乳 牛乳	2	$^{90}\text{Sr}$	ND	ND ~ 0.21	無	
穀物 米	2	$^{90}\text{Sr}$	ND	ND ~ 0.15	無	
指標生物 松葉	1	$^{90}\text{Sr}$	0.079	ND ~ 21	無	
その他 かんしょ	1	$^{90}\text{Sr}$	0.047	0.037 ~ 0.85	無	

b 海産生物

(単位:Bq/kg 生)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
魚 たい	1	$^{90}\text{Sr}$	ND	ND ~ 0.074	無	
	かわはぎ	1	$^{90}\text{Sr}$	ND	ND ~ 0.26	無
無脊椎動物 なまこ	2	$^{90}\text{Sr}$	ND, 0.025	ND ~ 0.15	無	
海藻類 わかめ	1	$^{90}\text{Sr}$	ND	ND	無	
指標生物 ほんだわら類	3	$^{90}\text{Sr}$	ND ~ 0.077	ND ~ 0.37	無	

## c 水

(単位:mBq/L)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因	
陸水	水道水	6	<sup>90</sup> Sr	ND ~ 1.4	ND ~ 7.4	無	
	河川水	2	<sup>90</sup> Sr	0.56 , 0.79	0.61 ~ 7.4	無	
	ダム水	1	<sup>90</sup> Sr	0.52	ND ~ 15	無	
海水	表層水 (放水口付近)	4	<sup>90</sup> Sr	ND ~ 0.60	ND ~ 7.4	無	
	表層水 (取水口付近)	4	<sup>90</sup> Sr	ND ~ 1.2	ND ~ 7.4	無	

## d 土

(単位:Bq/kg 乾)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因	
土壌	表層土	13	<sup>90</sup> Sr	ND ~ 1.7	ND ~ 35	無	
	ダム底土	1	<sup>90</sup> Sr	0.26	ND ~ 2.0	無	
海底土	表層土 (放水口付近)	4	<sup>90</sup> Sr	ND ~ 0.37	ND ~ 0.32	有	(注5)
	表層土 (取水口付近)	4	<sup>90</sup> Sr	ND	ND ~ 0.18	無	

(注 1)ND…検出下限値未満を示す。

(注 2)試料数が 2 以上で測定結果が範囲を示していない試料は、測定結果がすべて同一値である。

(注 3)昭和 61 年度に測定した環境試料の測定値については、旧ソ連原子力発電所事故(昭和 61 年 4 月 26 日発生)の影響を受けているものがあるため、平常の変動範囲は昭和 61 年度分を除いたものを記載している。

(注 4)平成 23、24 年度に測定した環境試料の測定値については、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の影響を受けているものがあるため、平常の変動範囲は平成 23、24 年度分を除いたものを記載している。

(注 5)検出された要因は、主に過去の大気中の核実験の影響によるものと考えられる。

② トリチウム分析

海水・陸水中のトリチウム ( $^3\text{H}$ ) の測定結果は次表のとおりであり、平常の変動範囲の上限値を超えたものがあつたが、玄海原子力発電所からのトリチウムの管理放出による影響と推定している。なお、検出された放射性物質の量はいずれもごく微量であり、健康へ影響を与えることはない。

(単位:Bq/L)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因	
陸水	水道水	9	$^3\text{H}$	ND	ND ~ 2.3	無	
	河川水	4	$^3\text{H}$	ND	ND ~ 2.3	無	
	ダム水	2	$^3\text{H}$	ND , 0.33	ND ~ 1.6	無	
海水	表層水 (放水口付近)	6	$^3\text{H}$	ND ~ 24	ND ~ 3.5	有	管理放出による影響と推定 <sup>(注3)</sup>
	表層水 (取水口付近)	6	$^3\text{H}$	ND ~ 0.28	ND ~ 3.1	無	

(注1) ND…検出下限値未満を示す。

(注2) 海水については、過去、発電所からのトリチウムの放出(管理された放出であり、法令等に定める基準以下)の影響により、それ以外の測定値に比べ高い値(放水口付近 41Bq/L、取水口付近 3.2 Bq/L、5.8Bq/L)となったと考えられるものがあるため、平常の変動範囲は当該値を除いたものを記載している。

(注3) 第2四半期に県が実施した海水の放水口付近表層水の採取は、7月29日10時ごろ実施しているが、当日6時ごろまで玄海原子力発電所からトリチウムの放出(管理された放出であり、法令等に定める基準以下)が行われていたことから、その影響によるものと考えられる。

### (3) 大気浮遊じん中の放射能

#### ア 大気浮遊じんの連続測定

大気浮遊じんの連続測定結果については次表のとおりであり、平常の変動範囲内にあった。

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

試料名	試料数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
大気浮遊じん	15	<sup>60</sup> Co	ND	ND	無	
	15	<sup>134</sup> Cs	ND	ND	無	
	15	<sup>137</sup> Cs	ND	ND ~ 0.26	無	

(注)ND…検出下限値未満を示す。

#### イ 大気中の放射性ヨウ素濃度の測定

大気中の放射性ヨウ素 (<sup>131</sup>I) 濃度の測定結果については次表のとおりであり、平常の変動範囲内にあった。

(単位:Bq/m<sup>3</sup>)

試料名	地点数	核種名	測定結果	平常の変動範囲	超過の有無	超えた要因
大気中 放射性ヨウ素	19	<sup>131</sup> I	ND	ND	無	

(注)ND…検出下限値未満を示す。

## 添付資料

- 1 空間放射線測定結果（詳細）
- 2 環境試料中の放射能（詳細）
- 3 大気浮遊じん中の放射能（詳細）
- 4 令和7年度 クロスチェック結果（測定実施機関の  $E_n$  スコアによる比較）
- 5 測定方法及び測定機器
- 6 測定値の表示単位及び取扱い

1 空間放射線測定結果（詳細）

(1) モニタリングポスト (NaI(Tl)シンチレーション式検出器)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因	
		最小値	平均値	最大値	(M-3σ)	(M+3σ)			
県 設 置 局	今村	4	27	29	18	41	7 (0.97)	降雨	
		5	26	30			33 (4.48)	降雨	
		6	27	30			28 (3.89)	降雨	
		7	26	29			45	1 (0.13)	降雨
		8	27	30			83	30 (4.03)	降雨
		9	26	29			51	4 (0.56)	降雨
		10	26	30			73	22 (2.96)	降雨
		11	28	30			48	5 (0.69)	降雨
		12	26	30			63	24 (3.26)	降雨
		1	28	29			46	1 (0.13)	降雨
		2	27	30			55	30 (4.48)	降雨
		3	27	30			68	41 (5.53)	降雨
		期間	26	30			83	226 (2.59)	
		平尾	4	32			34	24	45
	5		32	34	53	27 (3.66)	降雨		
	6		32	34	68	25 (3.47)	降雨		
	7		32	34	47	1 (0.13)	降雨		
	8		32	35	81	31 (4.17)	降雨		
	9		32	33	51	2 (0.28)	降雨		
	10		32	35	73	22 (2.96)	降雨		
	11		33	34	48	3 (0.42)	降雨		
	12		32	35	66	24 (3.26)	降雨		
	1		32	33	56	2 (0.27)	降雨		
	2		32	34	61	30 (4.48)	降雨		
	3		32	34	69	37 (4.98)	降雨		
	期間		32	34	81	211 (2.41)			
	串		4	31	33	23	43		
		5	31	33	51			27 (3.66)	降雨
		6	30	33	60			24 (3.33)	降雨
		7	31	32	45			1 (0.13)	降雨
		8	30	34	82			28 (3.76)	降雨
		9	31	32	49			2 (0.28)	降雨
		10	31	34	69			23 (3.09)	降雨
		11	32	34	49			6 (0.83)	降雨
		12	32	34	64			27 (3.63)	降雨
		1	31	33	50			2 (0.27)	降雨
2		31	34	56	30 (4.46)			降雨	
3		31	33	69	41 (5.51)			降雨	
期間		30	33	82	219 (2.50)				

(続き)

(単位:nGy/h)

局名		月	線量率(1時間値)			平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因
			最小値	平均値	最大値	(M-3 $\sigma$ )	(M+3 $\sigma$ )		
県 設 置 局	先部	4	30	32	62	21	43	7 (0.97)	降雨
		5	30	32	53			33 (4.47)	降雨
		6	29	32	66			26 (3.61)	降雨
		7	30	32	43			0 (0.00)	—
		8	29	33	84			32 (4.30)	降雨
		9	30	31	52			3 (0.42)	降雨
		10	30	33	78			19 (2.55)	降雨
		11	31	32	45			5 (0.69)	降雨
		12	30	33	66			22 (2.99)	降雨
		1	30	32	48			3 (0.40)	降雨
		2	29	32	57			31 (4.62)	降雨
		3	29	32	67			37 (4.98)	降雨
		期間	29	32	84			218 (2.49)	
		外津浦	4	31	32			53	25
	5		31	33	48	30 (4.07)	降雨		
	6		31	33	59	25 (3.47)	降雨		
	7		31	32	43	1 (0.13)	降雨		
	8		30	33	69	28 (3.76)	降雨		
	9		31	32	47	2 (0.28)	降雨		
	10		31	33	62	20 (2.69)	降雨		
	11		31	33	45	4 (0.56)	降雨		
	12		31	33	55	23 (3.12)	降雨		
	1		31	32	43	1 (0.13)	降雨		
	2		31	33	50	26 (3.87)	降雨		
	3		31	33	59	38 (5.11)	降雨		
	期間		30	33	69	205 (2.34)			
	京泊先		4	30	32	56	23	41	
		5	30	32	49	27 (3.67)			降雨
		6	30	32	65	26 (3.61)			降雨
		7	30	31	41	0 (0.00)			—
		8	29	32	78	27 (3.63)			降雨
		9	29	31	46	3 (0.42)			降雨
		10	30	32	60	25 (3.36)			降雨
		11	30	32	44	5 (0.69)			降雨
		12	30	32	58	20 (2.71)			降雨
		1	30	31	51	2 (0.27)			降雨
2		30	32	59	31 (4.61)	降雨			
3		30	32	66	36 (4.85)	降雨			
期間		29	32	78	209 (2.39)				

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因	
		最小値	平均値	最大値	(M-3 $\sigma$ )	(M+3 $\sigma$ )			
九電 設置局	正門南	4	24	25	40	17	33	9 (1.30)	降雨
		5	24	25	42			36 (5.00)	降雨
		6	23	26	54			33 (4.61)	降雨
		7	23	24	36			2 (0.27)	降雨
		8	23	25	59			31 (4.17)	降雨
		9	23	25	40			6 (0.83)	降雨
		10	24	26	57			25 (3.36)	降雨
		11	24	25	39			7 (0.98)	降雨
		12	24	26	52			28 (3.77)	降雨
		1	24	25	35			1 (0.14)	降雨
		2	24	26	46			36 (5.37)	降雨
		3	24	26	53			46 (6.39)	降雨
		期間	23	25	59			260 (3.00)	
		岸壁	4	21	23			40	15
	5		21	23	37	34 (4.62)	降雨		
	6		21	23	50	28 (3.92)	降雨		
	7		21	22	32	2 (0.27)	降雨		
	8		21	23	53	32 (4.31)	降雨		
	9		21	22	36	3 (0.42)	降雨		
	10		21	23	53	21 (2.83)	降雨		
	11		21	23	34	6 (0.84)	降雨		
	12		21	23	43	22 (2.96)	降雨		
	1		21	22	33	1 (0.14)	降雨		
	2		21	23	39	29 (4.32)	降雨		
	3		21	23	44	42 (5.83)	降雨		
	期間		21	23	53	228 (2.63)			
	値賀崎		4	20	22	39	16	28	
		5	20	22	35	21 (2.83)			降雨
		6	20	22	46	26 (3.63)			降雨
		7	20	21	29	1 (0.13)			降雨
		8	20	21	44	28 (3.77)			降雨
		9	20	21	33	3 (0.43)			降雨
		10	20	22	47	15 (2.05)			降雨
		11	21	22	32	7 (0.98)			降雨
		12	21	22	39	26 (3.50)			降雨
		1	21	22	30	1 (0.14)			降雨
2		21	22	38	33 (4.92)	降雨			
3		21	23	42	38 (5.28)	降雨			
期間		20	22	47	209 (2.41)				

(続き)

(単位:nGy/h)

局名		月	線量率(1時間値)			平常の変動範囲		平常の変動範囲を 超えたデータ数(%)	超えた 要因
			最小値	平均値	最大値	(M-3 $\sigma$ )	(M+3 $\sigma$ )		
九 電 設 置 局	ダム南	4	22	24	46	16	32	8 (1.16)	降雨
		5	22	24	42			35 (4.76)	降雨
		6	22	24	53			28 (3.92)	降雨
		7	22	23	35			2 (0.27)	降雨
		8	22	24	60			32 (4.31)	降雨
		9	22	24	39			4 (0.56)	降雨
		10	22	24	56			23 (3.10)	降雨
		11	23	24	38			7 (0.98)	降雨
		12	23	25	50			25 (3.36)	降雨
		1	22	24	36			1 (0.14)	降雨
		2	23	25	44			34 (5.07)	降雨
		3	22	25	51			45 (6.25)	降雨
		期間	22	24	60			244 (2.82)	

(2) モニタリングポスト (電離箱式検出器)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
今村	4	62	65	96	134	0	
	5	62	65	84		0	
	6	62	65	97		0	
	7	62	64	78		0	
	8	61	65	113		0	
	9	61	63	83		0	
	10	62	64	103		0	
	11	61	64	80		0	
	12	62	64	95		0	
	1	61	63	79		0	
	2	62	65	87		0	
	3	61	65	100		0	
	期間	61	64	113		0	
	平尾	4	66	68		97	134
5		66	68	87	0		
6		65	68	100	0		
7		66	68	81	0		
8		66	69	112	0		
9		66	67	84	0		
10		66	68	104	0		
11		66	68	81	0		
12		66	68	98	0		
1		65	67	89	0		
2		66	68	93	0		
3		65	68	102	0		
期間		65	68	112	0		
串 <sup>(注1)</sup>		4	—	—	—	137	
	5	—	—	—	—		
	6	—	—	—	—		
	7	—	—	—	—		
	8	—	—	—	—		
	9	—	—	—	—		
	10	—	—	—	—		
	11	—	—	—	—		
	12	60	65	91	0		
	1	62	64	79	0		
	2	62	65	84	0		
	3	62	64	96	0		
	期間	60	65	96	0		

(注1) 串局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和6年7月3日からの測定値を評価から除外しており、令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
先部	4	67	69	96	135	0	
	5	66	69	89		0	
	6	65	69	100		0	
	7	66	69	78		0	
	8	66	70	116		0	
	9	66	68	88		0	
	10	66	69	110		0	
	11	66	68	81		0	
	12	66	69	99		0	
	1	66	68	85		0	
	2	66	69	93		0	
	3	66	69	102		0	
	期間	65	69	116		0	
外津浦	4	64	66	85	114	0	
	5	64	66	80		0	
	6	64	66	90		0	
	7	63	66	76		0	
	8	63	66	100		0	
	9	63	65	79		0	
	10	64	66	93		0	
	11	64	65	76		0	
	12	64	66	87		0	
	1	63	65	75		0	
	2	64	66	83		0	
	3	64	66	92		0	
	期間	63	66	100		0	
京泊先	4	66	68	91	126	0	
	5	65	68	85		0	
	6	64	67	96		0	
	7	65	67	77		0	
	8	65	68	110		0	
	9	65	67	80		0	
	10	65	67	92		0	
	11	65	67	78		0	
	12	65	68	92		0	
	1	65	67	86		0	
	2	65	68	92		0	
	3	64	68	100		0	
	期間	64	67	110		0	

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
屋形石	4	64	66	89	118	0	
	5	63	66	88		0	
	6	63	65	92		0	
	7	63	64	73		0	
	8	62	65	100		0	
	9	63	64	75		0	
	10	63	65	93		0	
	11	62	64	74		0	
	12	63	65	91		0	
	1	62	64	82		0	
	2	63	65	91		0	
	3	63	66	94		0	
	期間	62	65	100		0	
	大良	4	74	77		99	136
5		74	77	94	0		
6		73	77	106	0		
7		73	76	90	0		
8		74	77	116	0		
9		73	76	89	0		
10		74	77	110	0		
11		73	76	89	0		
12		74	77	102	0		
1		75	78	97	0		
2		75	79	119	0		
3		75	78	112	0		
期間		73	77	119	0		
諸浦		4	64	66	96	133	
	5	64	66	82	0		
	6	62	65	97	0		
	7	61	64	77	0		
	8	61	65	112	0		
	9	62	64	78	0		
	10	63	65	98	0		
	11	63	65	76	0		
	12	64	66	90	0		
	1	62	65	87	0		
	2	63	66	97	0		
	3	63	66	97	0		
	期間	61	65	112	0		

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
入野	4	61	63	94	139	0	
	5	60	62	80		0	
	6	60	63	90		0	
	7	61	63	72		0	
	8	60	63	116		0	
	9	61	62	80		0	
	10	61	63	93		0	
	11	60	63	77		0	
	12	61	64	92		0	
	1	61	63	95		0	
	2	61	64	98		0	
	3	60	63	97		0	
	期間	60	63	116		0	
寺浦	4	63	67	93	131	0	
	5	62	65	79		0	
	6	62	66	91		0	
	7	61	65	74		0	
	8	63	67	109		0	
	9	64	66	80		0	
	10	64	67	97		0	
	11	65	67	80		0	
	12	65	68	91		0	
	1	63	67	86		0	
	2	64	68	103		0	
	3	61	67	102		0	
	期間	61	66	109		0	
名護屋	4	66	69	102	149	0	
	5	65	69	94		0	
	6	66	69	103		0	
	7	66	69	80		0	
	8	66	70	127		0	
	9	66	68	88		0	
	10	67	69	116		0	
	11	67	69	83		0	
	12	67	70	102		0	
	1	67	69	90		0	
	2	67	70	100		0	
	3	66	70	106		0	
	期間	65	69	127		0	

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
石室	4	61	63	83	132	0	
	5	60	63	77		0	
	6	60	62	83		0	
	7	60	62	72		0	
	8	60	63	94		0	
	9	60	62	77		0	
	10	61	63	86		0	
	11	61	63	73		0	
	12	62	64	90		0	
	1	61	63	79		0	
	2	61	64	84		0	
	3	61	64	99		0	
	期間	60	63	99		0	
	加倉	4	62	64		93	137
5		61	64	85	0		
6		61	64	104	0		
7		61	64	79	0		
8		62	65	110	0		
9		62	64	85	0		
10		62	64	106	0		
11		62	63	77	0		
12		62	64	104	0		
1		61	63	94	0		
2		62	64	102	0		
3		62	65	105	0		
期間		61	64	110	0		
呼子		4	70	73	94	123	
	5	70	73	93	0		
	6	70	73	100	0		
	7	71	73	81	0		
	8	70	74	111	0		
	9	70	72	89	0		
	10	70	72	105	0		
	11	70	72	83	0		
	12	71	73	101	0		
	1	70	73	87	0		
	2	72	74	94	0		
	3	72	75	101	0		
	期間	70	73	111	0		

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
馬渡島 <sup>(注2)</sup>	4	67	69	101	128	0	
	5	66	68	89		0	
	6	62	67	100		0	
	7	60	65	75		0	
	8	57	64	120		0	
	9	58	63	84		0	
	10	58	65	101		0	
	11	64	66	82		0	
	12	65	67	94		0	
	1	64	66	87		0	
	2	65	68	91		0	
	3	65	67	92		0	
	期間	57	66	120		0	
	加唐島 <sup>(注2)</sup>	4	71	73		100	135
5		70	73	88	0		
6		71	73	96	0		
7		71	73	81	0		
8		71	74	129	0		
9		71	73	96	0		
10		71	74	104	0		
11		71	73	86	0		
12		72	74	98	0		
1		70	73	89	0		
2		71	74	92	0		
3		71	74	92	0		
期間		70	73	129	0		
向島 <sup>(注2)</sup>		4	65	67	92	124	
	5	64	67	87	0		
	6	64	67	94	0		
	7	64	66	77	0		
	8	64	68	109	0		
	9	64	66	83	0		
	10	64	66	93	0		
	11	64	66	78	0		
	12	64	67	89	0		
	1	64	66	84	0		
	2	64	67	92	0		
	3	64	67	91	0		
	期間	64	67	109	0		

(注2) 馬渡島局、加唐島局、向島局は、令和8年3月に電離箱検出器を半導体検出器に更新したため、更新前の電離箱検出器による測定値を評価している。更新期間中は可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
小川島 <sup>(注3, 4)</sup>	4	68	70	100	157	0	
	5	67	70	92		0	
	6	60	69	105		0	
	7	59	70	80		0	
	8	65	71	150		0	
	9	65	69	93		0	
	10	67	71	112		0	
	11	69	71	89		0	
	12	69	71	104		0	
	1	68	70	100		0	
	2	68	71	100		0	
	3	68	71	96		0	
	期間	60	70	150		0	
	二タ子 <sup>(注3)</sup>	4	71	74		94	131
5		70	74	92	0		
6		70	74	106	0		
7		72	74	89	0		
8		71	75	118	0		
9		71	73	89	0		
10		71	74	110	0		
11		71	74	87	0		
12		72	74	104	0		
1		70	73	98	0		
2		71	74	104	0		
3		71	74	95	0		
期間		70	74	118	0		
山本 <sup>(注3)</sup>		4	77	79	105	152	
	5	76	79	101	0		
	6	76	79	112	0		
	7	75	79	91	0		
	8	74	79	128	0		
	9	74	77	88	0		
	10	76	79	122	0		
	11	77	80	92	0		
	12	76	81	114	0		
	1	76	79	105	0		
	2	75	80	113	0		
	3	76	79	104	0		
	期間	74	79	128	0		

(注3) 小川島局、二タ子局、山本局は、令和8年3月に電離箱検出器を半導体検出器に更新したため、更新前の電離箱検出器による測定値を評価している。更新期間中は可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。

(注4) 小川島局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年7月4日から予備の電離箱検出器により代替測定を実施。

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
波多津 <sup>(注5)</sup>	4	73	76	101	131	0	
	5	72	76	98		0	
	6	72	76	113		0	
	7	72	74	77		0	
	8	—	—	—		—	
	9	—	—	—		—	
	10	—	—	—		—	
	11	—	—	—		—	
	12	70	75	100		0	
	1	70	74	87		0	
	2	71	75	111		0	
	3	70	74	101		0	
	期間	70	75	113		0	
	田野 <sup>(注6)</sup>	4	78	80		113	147
5		75	80	101	0		
6		76	80	114	0		
7		76	79	98	0		
8		76	79	132	0		
9		76	78	99	0		
10		77	79	108	0		
11		77	79	96	0		
12		77	80	120	0		
1		77	79	103	0		
2		78	81	130	0		
3		72	80	108	0		
期間		72	80	132	0		
相知 <sup>(注7)</sup>		4	—	—	—	139	
	5	—	—	—	—		
	6	—	—	—	—		
	7	—	—	—	—		
	8	—	—	—	—		
	9	—	—	—	—		
	10	—	—	—	—		
	11	—	—	—	—		
	12	69	73	102	0		
	1	68	71	92	0		
	2	68	72	100	0		
	3	66	72	92	0		
	期間	66	72	102	0		

(注5) 波多津局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年3月19日から予備の電離箱検出器により代替測定を実施し、令和7年7月3日からは可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

(注6) 田野局は、令和8年3月に電離箱検出器を半導体検出器に更新したため、更新前の電離箱検出器による測定値を評価している。更新期間中は可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。

(注7) 相知局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和6年7月26日から可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

(続き)

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			過去の最大値	平常の変動範囲を 超えたデータ数	超えた要因
		最小値	平均値	最大値			
松浦 <sup>(注8)</sup>	4	56	64	96	149	0	
	5	56	65	98		0	
	6	56	65	105		0	
	7	—	—	—		—	
	8	—	—	—		—	
	9	—	—	—		—	
	10	—	—	—		—	
	11	—	—	—		—	
	12	72	76	107		0	
	1	71	75	92		0	
	2	72	76	109		0	
	3	72	76	97		0	
	期間	56	71	109		0	
	立花 <sup>(注9)</sup>	4	75	77		109	135
5		73	77	113	0		
6		72	77	110	0		
7		72	76	96	0		
8		72	77	137	1	降雨	
9		72	75	98	0		
10		73	76	101	0		
11		74	77	91	0		
12		74	77	118	0		
1		73	76	95	0		
2		74	78	107	0		
3		73	77	104	0		
期間		72	77	137	1		

(注8) 松浦局について、測定機器の異常と推定される空間放射線量率の変動がみられたため、令和7年6月18日から可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。令和7年12月16日から修繕した電離箱式検出器による測定を再開した。

(注9) 立花局は、令和8年3月に電離箱検出器を半導体検出器に更新したため、更新前の電離箱検出器による測定値を評価している。更新期間中は可搬型モニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション式検出器)による代替測定を実施。

【参考：可搬型モニタリングポスト（NaI(Tl)シンチレーション式検出器）による代替測定結果】

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			備考
		最小値	平均値	最大値	
馬渡島	3	33	34	34	3/26から3/27まで
加唐島	3	45	51	57	3/27
向島	3	28	31	52	3/20から3/27まで
小川島	3	24	27	46	3/16から3/27まで
二夕子	3	30	35	48	3/24から3/27まで
山本	3	33	36	52	3/19から3/27まで
波多津	7	33	37	55	7/3から
	8	33	37	89	
	9	33	36	52	
	10	36	38	64	
	11	35	38	51	
	12	35	38	60	12/16まで
田野	3	36	39	52	3/23から3/27まで
相知	4	24	25	47	
	5	23	25	47	
	6	23	25	47	
	7	21	23	31	
	8	21	23	66	
	9	19	25	41	
	10	29	31	69	
	12	29	31	49	12/16まで
松浦	6	36	39	59	6/18より代替測定開始
	7	37	40	53	
	8	36	40	110	
	9	36	38	53	
	10	37	40	78	
	12	36	39	51	12/16まで
立花	3	33	37	59	3/19から3/27まで

【参考：半導体検出器による測定結果】

(単位:nGy/h)

局名	月	線量率(1時間値)			備考
		最小値	平均値	最大値	
馬渡島	3	39	44	60	3/27から3/31まで
加唐島	3	41	45	60	
向島	3	38	42	64	
小川島	3	38	43	65	
二夕子	3	39	45	62	
山本	3	41	51	68	
田野	3	43	49	78	
立花	3	43	48	63	

(3) 放水口モニタ

(単位:cpm)

局名	月	線量率(1時間値)			平常の変動範囲		平常の変動範囲を超えたデータ数(%)	超えた要因	
		最小値	平均値	最大値	(M-3σ)	(M+3σ)			
九電設置局	1、2号放水口	4	438	455	778	407	513	10 (1.39)	降雨
		5	441	457	557			6 (0.81)	降雨
		6	441	455	487			0 (0.00)	—
		7	444	455	476			0 (0.00)	—
		8	443	463	933			17 (2.29)	降雨
		9	445	459	595			3 (0.42)	降雨
		10	440	457	580			3 (0.43)	降雨
		11	434	452	533			3 (0.42)	降雨
		12	437	452	593			9 (1.21)	降雨
		1	437	452	611			8 (1.09)	降雨
		2	437	453	611			8 (1.19)	降雨
		3	438	456	593			9 (1.25)	降雨
		期間	434	456	933			76 (0.88)	
		3号放水口	4	355	364			373	351
	5		354	363	372	0 (0.00)	—		
	6		350	358	369	0 (0.00)	—		
	期間					0 (0.00)			
	7		350	360	371	350	374	0 (0.00)	—
	8		350	359	383			2 (0.29)	降雨
	9		352	360	369			0 (0.00)	—
	10		351	361	368			0 (0.00)	—
	11		347	358	369			0 (0.00)	—
	12		351	360	399			9 (1.27)	降雨
	1		349	362	377			1 (0.14)	降雨
	2		356	365	396			25 (3.75)	降雨
	3		357	365	402			37 (5.22)	降雨
	期間							74 (1.19)	
	期間	347	361	402					
	4号放水口	4	375	386	404	367	394	19 (2.66)	降雨
		5	371	382	395			1 (0.14)	降雨
		6	367	376	389			0 (0.00)	—
		期間						20 (0.95)	
		7	366	376	390	365	398	0 (0.00)	—
		8	365	376	385			0 (0.00)	—
		9	370	378	388			0 (0.00)	—
		10	369	380	391			0 (0.00)	—
11		368	377	392	0 (0.00)			—	
12		365	375	417	3 (0.45)			降雨	
1		368	377	397	0 (0.00)			—	
2		371	382	398	0 (0.00)			—	
3		372	383	410	8 (1.13)			降雨	
期間					11 (0.18)				
期間	365	379	417						

(注1) 「1、2号放水口モニタ」は「3号及び4号放水口モニタ」より計数率の変動が大きい。これは、3号機及び4号機は水深約10～13mから海水の取水を行っているのに対し、1号機及び2号機が海面～水深約9mから取水を行っていること、また、「3号及び4号放水口モニタ」は放水管から放水を取り出し、建屋内で測定しているのに対し、「1、2号放水口モニタ」は屋外の放水口(海中)で測定していることから、降雨などによる環境放射線の変動の影響を受けやすいためと考えられる。

(注2) 3号放水口モニタは令和7年2月21日に検出器を更新したため、更新後の平常の変動範囲は

4～6月については、令和7年2月21日～令和7年3月31日

7～3月については、令和7年2月21日～令和7年6月30日 の期間から算出している。

(注3) 4号放水口モニタは令和7年3月7日に検出器を更新したため、更新後の平常の変動範囲は

4～6月については、令和7年3月7日～令和7年3月31日

7～3月については、令和7年3月7日～令和7年6月30日 の期間から算出している。

## 2 環境試料中の放射能（詳細）

### (1) 農畜産物・植物、海産生物

試料名	採取場所	採取年月日	測定者	単位	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>90</sup> Sr	参考核種			
										<sup>40</sup> K	その他 <sup>※1</sup>		
農畜産物・植物	たまねぎ (外皮を除く)	値賀	R7. 5. 20	県	Bq/kg 生	ND	—	ND	ND	—	42	ND	
		納所	R7. 6. 4	県		ND	—	ND	ND	—	48	ND	
	きゃべつ (根を除く)	轟木	R7. 12. 9	県		ND	ND	ND	ND	—	68	ND	
	ほうれん草 (根を除く)	今村	R7. 4. 15	九電		ND	ND	ND	ND	—	170	ND	
			R7. 12. 16	九電		ND	ND	ND	ND	—	210	ND	
			R8. 2. 2	九電		ND	ND	ND	ND	ND	190	ND	
	牛乳 (原乳)	栄	R7. 6. 17	県		Bq/L	ND	ND	ND	ND	—	54	ND
			R7. 9. 29	県			ND	ND	ND	ND	ND	52	ND
			R8. 3. 10	県			ND	ND	ND	ND	—	53	ND
		田野	R7. 6. 17	県			ND	ND	ND	ND	—	45	ND
			R7. 9. 29	県			ND	ND	ND	ND	—	46	ND
			R8. 3. 10	県			ND	ND	ND	ND	—	48	ND
		浜野浦	R7. 5. 13	九電			ND	ND	ND	ND	—	51	ND
			R7. 8. 5	九電			ND	ND	ND	ND	—	56	ND
			R7. 10. 14	九電			ND	ND	ND	ND	ND	47	ND
			R8. 2. 17	九電			ND	ND	ND	ND	—	51	ND
	米 (精米、玄米) <sup>※2</sup>	平尾	R7. 8. 17	県		Bq/kg 生	ND	ND	ND	ND	—	23	ND
		諸浦	R7. 9. 1	県			ND	—	ND	ND	ND	24	ND
		普恩寺	R7. 10. 1	九電			ND	ND	ND	ND	ND	78	ND
		下宮	R7. 10. 14	九電			ND	—	ND	ND	—	78	ND
松葉 (葉のみ)	名護屋	R7. 6. 26	県	ND	ND	ND	0.037	—	66	ND			
		R7. 12. 3	県	ND	ND	ND	0.029	—	78	ND			
	敷地内	R7. 5. 12	九電	ND	ND	ND	ND	0.079	67	ND			
		R7. 7. 2	九電	ND	ND	ND	0.019	—	72	ND			
		R7. 11. 10	九電	ND	ND	ND	0.025	—	65	ND			
		R8. 1. 27	九電	ND	ND	ND	0.028	—	89	ND			
ばれいしょ (表皮を含む)	平尾	R7. 6. 27	県	ND	—	ND	ND	—	130	ND			
	納所	R7. 6. 27	県	ND	—	ND	ND	—	150	ND			
みかん (外皮を除く)	平尾	R7. 11. 28	県	ND	—	ND	ND	—	39	ND			
	串	R7. 11. 14	県	ND	—	ND	ND	—	42	ND			
かんしょ (全体)	普恩寺	R7. 10. 14	九電	ND	—	ND	ND	0.047	110	ND			
	今村	R7. 10. 14	九電	ND	—	ND	ND	—	140	ND			

※1 その他の参考核種として、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>65</sup>Zn、<sup>95</sup>Zr 及び <sup>144</sup>Ce を測定。

※2 米は、県は精米、九州電力は玄米を試料として測定を実施している。

(続き)

試料名	採取場所	採取年月日	測定者	単位	$^{60}\text{Co}$	$^{131}\text{I}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{90}\text{Sr}$	参考核種		
										$^{40}\text{K}$	その他※	
海産生物	たい (全身)	R7. 6. 6	九電	Bq/kg 生	ND	—	ND	0.084	—	110	ND	
		R7. 8. 27	県		ND	—	ND	ND	—	100	ND	
		R7. 10. 29	県		ND	—	ND	ND	—	110	ND	
		R7. 10. 7	九電		ND	—	ND	0.078	ND	110	ND	
	かわはぎ (全身)	発電所から 10km 圏内 の海域	R7. 8. 20		県	ND	—	ND	ND	ND	87	ND
			R7. 11. 14		県	ND	—	ND	ND	—	81	ND
	えそ類 (全身)		R7. 9. 9		県	ND	—	ND	0.13	—	110	ND
			R7. 10. 29		県	ND	—	ND	0.15	—	110	ND
	いか (全身)		R7. 6. 4		九電	ND	—	ND	ND	—	110	ND
			R7. 7. 2		九電	ND	—	ND	ND	—	120	ND
	さざえ (身)	八田浦周辺	R7. 10. 30		九電	ND	—	ND	ND	—	60	ND
	なまこ (全身)		R8. 3. 6		県	ND	—	ND	ND	0.025	24	ND
			R8. 3. 18		九電	ND	—	ND	ND	ND	20	ND
	わかめ (全藻)		R7. 4. 8		九電	ND	ND	ND	ND	ND	260	ND
	ほんだわら類 (付着器を除く)		R7. 4. 22		九電	ND	ND	ND	ND	ND	260	ND
			R7. 7. 7		県	ND	ND	ND	ND	0.077	350	ND
			R7. 10. 29		九電	ND	ND	ND	ND	—	310	ND
むらさきいんこがい (身)	R8. 3. 16		県	ND	ND	ND	ND	0.033	250	ND		
	R7. 7. 8		県	ND	—	ND	ND	—	8.8	ND		

※ その他の参考核種として、 $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{65}\text{Zn}$ 、 $^{95}\text{Zr}$  及び  $^{144}\text{Ce}$  を測定。

(2) 陸水、海水

試料名	採取場所	採取年月日	測定者	単位	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H	参考核種		
											<sup>40</sup> K	その他	
陸水	水道水	値賀出張所	R7. 4. 2	県	mBq/L [ <sup>3</sup> Hは Bq/L]	ND	ND	ND	ND	0.79	ND	47	ND
			R7. 7. 16	県		ND	ND	ND	ND	—	ND	46	ND
			R7. 10. 27	県		ND	ND	ND	ND	—	ND	50	ND
			R8. 2. 3	県		ND	ND	ND	ND	—	ND	54	ND
		西大久保 飲料水 供給施設	R7. 6. 9	県		ND	ND	ND	ND	—	ND	45	ND
			R7. 6. 25			—	—	—	ND	—	—	—	
		瀬戸木場 浄水場	R7. 8. 18	県		ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	ND
		城簡易水道	R7. 12. 8	県		ND	ND	ND	ND	0.82	ND	ND	ND
		日南郷 飲料水供給施設	R7. 12. 8	県		ND	ND	ND	ND	0.48	ND	23	ND
	馬渡島浄水場		R8. 2. 17	県		ND	ND	ND	ND	1.4	ND	88	ND
		河川水	志礼川	R7. 5. 20		県	ND	ND	ND	ND	0.79	ND	68
	R7. 5. 20			九電		ND	ND	ND	ND	—	—	70	ND
	R7. 7. 28			九電		ND	ND	ND	ND	—	ND	67	ND
	R7. 12. 1			県		ND	ND	ND	ND	—	ND	51	ND
	R7. 11. 5			九電		ND	ND	ND	ND	—	—	83	ND
	R8. 2. 17			九電		ND	ND	ND	ND	0.56	ND	57	ND
	ダム水			敷地内		R7. 7. 29	九電	ND	ND	ND	ND	—	ND
		R8. 1. 7	九電			ND	ND	ND	ND	0.52	0.33	78	ND
海水	表層水 (放水口付近)	1、2号 放水口付近	R7. 4. 7	九電	ND	ND	ND	1.9	0.60	ND	—	ND	
			R7. 7. 29	県	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	—	ND	
			R7. 7. 1	九電	ND	ND	ND	2.1	—	—	—	ND	
			R7. 10. 7	九電	ND	ND	ND	1.6	—	ND	—	ND	
			R8. 1. 14	九電	ND	ND	ND	1.7	—	—	—	ND	
		3、4号 放水口付近	R7. 4. 7	九電	ND	ND	ND	1.8	—	ND	—	ND	
			R7. 7. 29	県	ND	ND	ND	ND	0.57	24	—	ND	
			R7. 7. 1	九電	ND	ND	ND	1.9	—	—	—	ND	
			R7. 10. 7	九電	ND	ND	ND	1.9	ND	ND	—	ND	
			R8. 1. 14	九電	ND	ND	ND	1.9	—	—	—	ND	
	表層水 (取水口付近)	1、2号 取水口付近	R7. 4. 7	九電	ND	ND	ND	2.1	0.77	ND	—	ND	
			R7. 7. 22	九電	ND	ND	ND	2.0	—	—	—	ND	
			R7. 10. 7	九電	ND	ND	ND	1.4	—	0.28	—	ND	
			R8. 1. 19	県	ND	ND	ND	1.9	0.76	ND	—	ND	
			R8. 1. 19	九電	ND	ND	ND	1.8	—	—	—	ND	
		3、4号 取水口付近	R7. 4. 7	九電	ND	ND	ND	1.7	—	ND	—	ND	
			R7. 7. 22	九電	ND	ND	ND	1.7	—	—	—	ND	
			R7. 10. 7	九電	ND	ND	ND	1.7	ND	ND	—	ND	
			R8. 1. 19	県	ND	ND	ND	1.6	1.2	ND	—	ND	
			R8. 1. 19	九電	ND	ND	ND	1.7	—	—	—	ND	

※ その他の参考核種として、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>65</sup>Zn、<sup>95</sup>Zr 及び <sup>144</sup>Ce を測定。

(3) 土壌、海底土

試料名	採取場所	採取年月日	測定者	単位	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>90</sup> Sr	参考核種		
									<sup>40</sup> K	その他*	
土壌	表層土	串	R7. 5. 1	県	Bq/kg乾	ND	ND	0.53	—	530	ND
		九電値賀寮	R7. 5. 1	県		ND	ND	ND	ND	730	ND
		岸壁側	R7. 4. 1	九電		ND	ND	6.4	—	170	ND
		正門南	R7. 4. 1	九電		ND	ND	8.1	0.84	180	ND
		九電今村寮	R7. 4. 1	九電		ND	ND	8.3	1.7	180	ND
		鏡山小学校	R7. 8. 8	県		ND	ND	0.73	ND	760	ND
		ひれふりランド	R7. 8. 8	県		ND	ND	0.65	ND	520	ND
		半田ふれあいセンター	R7. 8. 8	県		ND	ND	ND	ND	660	ND
		唐津市浜玉林業構造改善センター	R7. 8. 8	県		ND	ND	ND	0.13	510	ND
		七山小中学校	R7. 8. 8	県		ND	ND	ND	ND	570	ND
		二タ子局	R7. 11. 6	県		ND	ND	ND	ND	780	ND
		山本局	R7. 11. 6	県		ND	ND	ND	ND	770	ND
		佐志小学校	R7. 11. 6	県		ND	ND	0.73	ND	690	ND
		唐津第一中学校	R7. 11. 6	県		ND	ND	ND	ND	730	ND
		高島公民館前	R7. 10. 30	県		ND	ND	0.92	ND	600	ND
		岸壁側	R7. 11. 17	九電		ND	ND	6.3	—	170	ND
		正門南	R7. 11. 17	九電		ND	ND	8.9	—	180	ND
	ダム底土	敷地内	R7. 4. 1	九電		ND	ND	4.7	0.26	320	ND
			R7. 11. 17	九電		ND	ND	4.4	—	330	ND
	海底土	表層土 (放水口付近)	1、2号 放水口付近	R7. 7. 29		県	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND
R7. 7. 1				九電	ND	ND		ND	ND	97	ND
R8. 1. 14				九電	ND	ND		ND	—	140	ND
3、4号 放水口付近			R7. 7. 29	県	ND	ND		ND	0.29	130	ND
			R7. 7. 1	九電	ND	ND		ND	0.37	120	ND
			R8. 1. 14	九電	ND	ND		ND	—	140	ND
表層土 (取水口付近)		1、2号 取水口付近	R7. 7. 22	九電	ND	ND		ND	ND	190	ND
			R8. 1. 19	県	ND	ND		ND	ND	110	ND
			R8. 1. 19	九電	ND	ND		ND	—	170	ND
		3、4号 取水口付近	R7. 7. 22	九電	ND	ND		ND	ND	100	ND
			R8. 1. 19	県	ND	ND		ND	ND	200	ND
			R8. 1. 19	九電	ND	ND		ND	—	120	ND

※ その他の参考核種として、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>65</sup>Zn、<sup>95</sup>Zr 及び <sup>144</sup>Ce を測定。

### 3 大気浮遊じん中の放射能（詳細）

#### (1) 大気浮遊じん（連続測定）

試料名	採取場所	採取年月日	測定者	単位	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	参考核種	
								<sup>40</sup> K	その他*
大気浮遊じん	今村局	R7. 4. 1～ R7. 4. 30	県	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND	ND	0.46	ND
		R7. 5. 1～ R7. 5. 31	県		ND	ND	ND	0.50	ND
		R7. 6. 1～ R7. 6. 30	県		ND	ND	ND	0.49	ND
		R7. 7. 1～ R7. 7. 31	県		ND	ND	ND	0.46	ND
		R7. 8. 1～ R7. 8. 31	県		ND	ND	ND	0.49	ND
		R7. 9. 1～ R7. 9. 30	県		ND	ND	ND	0.48	ND
		R7.10. 1～ R7.10. 31	県		ND	ND	ND	0.49	ND
		R7.11. 1～ R7.11. 30	県		ND	ND	ND	0.44	ND
		R7.12. 1～ R7.12. 31	県		ND	ND	ND	0.49	ND
		R8. 1. 1 ～R8. 1. 24	県		ND	ND	ND	0.55	ND
		R8. 2. 12 ～R8. 2. 28	県		ND	ND	ND	0.51	ND
		R7. 3. 31～ R7. 6. 30	九電		ND	ND	ND	0.48	ND
	R7. 6. 30～ R7. 9. 30	九電	ND		ND	ND	0.51	ND	
	R7. 9. 30～ R7.12. 26	九電	ND		ND	ND	0.46	ND	
	R7.12. 26 ～R8. 3. 31	九電	ND		ND	ND	0.47	ND	

※1 その他の参考核種として、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>65</sup>Zn、<sup>95</sup>Zr 及び <sup>144</sup>Ce を測定。

※2 今村局の大気浮遊じん中放射能の1月分及び2月分は機器不調のため一部期間が欠測。また、3月分は測定機器の更新・調整のため欠測。

(2) 大気中の放射性ヨウ素濃度

測定地点	発電所からの		測定 年月日	測定者	単位	測定結果	調査機関
	方位	距離(km)					
諸浦局	SE	5.8	R7. 6. 5	県	Bq/m <sup>3</sup>	ND	環境センター
小川島局	NNE	10.9	R7. 6. 17	県		ND	
田野局	S	10.5	R7. 9. 1	県		ND	
二太子局	ESE	13.1	R7. 9. 1	県		ND	
波多津局	SSE	16.0	R7. 12. 1	県		ND	
今村局	SE	0.8	R8. 3. 25	県		ND	
相知局	SE	24.0	R8. 3. 12	県		ND	
立花局	S	28.0	R8. 3. 12	県		ND	
名護屋局	ENE	3.7	R8. 3. 2	県		ND	
発電所口	SE	0.7	R7. 12. 9	九電		ND	九州電力株式会社
串崎	NNE	0.9	R7. 12. 9	九電		ND	
外津	ESE	1.0	R7. 12. 9	九電		ND	
普恩寺	SSE	1.2	R7. 12. 9	九電		ND	
串公民館	ENE	1.4	R7. 12. 9	九電		ND	
今村交差点	SE	2.1	R7. 12. 9	九電		ND	
串浦	E	2.1	R7. 12. 9	九電		ND	
値賀取水場	ESE	2.2	R7. 12. 9	九電		ND	
名護屋南	ENE	2.3	R7. 12. 9	九電		ND	
値賀出張所	SSE	2.4	R7. 12. 9	九電	ND		

#### 4 令和7年度 クロスチェック結果（測定実施機関の En スコアによる比較）

佐賀県環境センターと九州電力玄海原子力発電所において、同一試料の測定結果に基づく En スコアの算定による測定実施機関間比較（クロスチェック）を行っており、令和7年度における結果のうち、測定値が両機関とも「ND（検出下限値未満）」となった測定項目を除いた比較結果は下表のとおりであった。

第1四半期の「ほんだわら類」、第3四半期の「海水」の<sup>90</sup>Sr試料で En スコアの絶対値がそれぞれ1を超えたため、両者の前処理の違いや測定機器の差異、解析段階の確認等の技術的検討を行ったが、いずれの試料においても、計数誤差による不確かさ以外に、両者で大きく異なる不確かさの要因はなかった。いずれの測定結果も検出下限値付近の極めて低い放射能濃度であったため、測定値のばらつきが大きくなり、両機関の測定値の差が見積もった拡張不確かさを上回ってしまったことによるものと考えられる。

表 令和7年度 クロスチェック結果(En スコアによる比較)

試料名	採取場所	採取年月日	測定部位	各核種測定における En スコアの絶対値						
				<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H	<sup>40</sup> K
ほんだわら類	八田浦	R7. 4. 22	付着器を除く	—	—	—	—	1.3	/	0.15
土壌	正門南	R7. 4. 1	表層土	—	/	—	0.33	0.28	/	0.36
海底土	3,4号放水口	R7. 7. 1	表層土	—	/	—	—	0.40	/	0.25
牛乳	浜野浦	R7. 10. 14	原乳	—	—	—	—	—	/	0.48
海水	3,4号放水口	R7. 10. 7	表層水	—	—	—	0.75	1.2	—	/
ほうれん草	今村	R8. 2. 2	根を除く	—	—	—	—	0.66	/	0.59

—:測定値が両機関とも ND のため判定せず  
/:調査対象外

#### <判定基準>

En スコアの絶対値が1より大きくなった場合は、分析・測定結果について技術的な検討を行う。

$$\text{En スコア} = \frac{X_{\text{県}} - X_{\text{九電}}}{\sqrt{U_{\text{県}}^2 + U_{\text{九電}}^2}}$$

X<sub>県</sub>: 県の分析・測定結果

X<sub>九電</sub>: 九電の分析・測定結果

U<sub>県</sub>: 県の分析・測定結果に伴う拡張不確かさ

U<sub>九電</sub>: 九電の分析・測定結果に伴う拡張不確かさ

#### 【En スコアについて】

分析機関における分析・測定結果を比較し、技術的検討を行うために使用する統計量

※ JIS マニュアル「試験所間比較による技能試験に使用する統計的方法 JIS Z8405:2021」を参照

5 測定方法及び測定機器

調査機関 調査項目		測定法	測定器	
			佐賀県	九州電力
空間放射線	空間放射線量率 (モニタリングポスト)	固定型モニタリングポスト(県・九電)、放水口モニタ(九電)による連続測定(テレメータシステム)	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立アロカメディカル (多重波高分析器付) MSR-R69-22234	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 富士電機 NDS3AAA2-BYYYY-S NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 富士電機 N16E-116
	放水口計数率 (放水口モニタ)	「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	電離箱式検出器 14L 球形加圧型(N <sub>2</sub> +Ar ガス) 日立アロカメディカル MSR-R69-21090R1 MSR-R69-22205	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償回路付) 日立製作所 ADP-1132
	空間放射線量率 (走行サーバイ車、モニタリングカー)	車載型検出器による連続走行測定 「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	CsI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 シリコンダイオード検出器 (エネルギー補償回路付) ミリオンテクノロジー HDS-101G	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立製作所 ADP-1132
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>131</sup> I ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs	「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー」(令和2年改訂 原子力規制庁)及び「放射性ヨウ素分析法」(平成8年改訂 文部科学省)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ GEM-C8065-LB-C-HJ-S** キャンベラジャパン GX4018-7915-30ULB** 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a MCA-7** キャンベラジャパン DSA-1000**	高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a
	ストロンチウム 90 ( <sup>90</sup> Sr)	「放射性ストロンチウム分析法」(令和7年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4502 キャンベラジャパン LB4200**	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4602
	トリチウム( <sup>3</sup> H)	「トリチウム分析法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB7	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB8

※ 分析委託先(一般財団法人九州環境管理協会)が使用。

(続き)

調査項目		調査機関	測定法	測定器	
				佐賀県	九州電力
大気浮遊じん中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs		<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 県:ダストサンプラで1か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化 九電:エアースンプラで3か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化</li> <li>・測定 環境試料中の放射能-ガンマ線放出核種と同様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 応用光研工業 S-3063</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 富士電機 NAD-TA7C5463C01</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>
	放射性ヨウ素 ・ <sup>131</sup> I (今村局)		<ul style="list-style-type: none"> <li>約72m<sup>3</sup>吸引後測定 「緊急時における放射性ヨウ素測定法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ アロカ DSM-1401BU1R1</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	
	放射性ヨウ素 ・ <sup>131</sup> I (小川島局、二夕子局、波多津局、相知局、立花局)		<ul style="list-style-type: none"> <li>約18m<sup>3</sup>吸引後測定 「緊急時における放射性ヨウ素測定法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 富士電機 NAD-TA7C3412C01</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	
	放射性ヨウ素 ・ <sup>131</sup> I (上記以外の測定地点)		<ul style="list-style-type: none"> <li>約0.50m<sup>3</sup>吸引後測定(佐賀県)</li> <li>約0.25m<sup>3</sup>吸引後測定(九州電力)</li> <li>「緊急時における放射性ヨウ素測定法」(令和5年改訂 原子力規制庁)に準ずる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ アロカ DSM-R60</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イージーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 日立製作所 DSM-362BU3R1</li> <li>・測定 ヨウ素モニタ NaI(Tl)シンチレーション検出器 2"φ×2"円柱型 日立製作所 ADP-1122</li> </ul>

(注) メーカー名は購入時。

## 6 測定値の表示単位及び取扱い

測定項目			単位	測定値の取扱い
空間放射線量率	モニタリングポスト		nGy/h	表示は整数とする。
	走行サーベイ	九州電力	nGy/h	
		佐賀県	$\mu$ Sv/h	表示は小数点以下2桁とする。 0.20 $\mu$ Sv/h 未満の測定値は、測定器の測定精度保証範囲外であるため参考値とする。
放水口計数率			cpm	表示は整数とする。
環境試料中の放射能	ガンマ線 放出核種 ストロンチウム90	農産物	Bq/kg 生	有効数字は2桁とする。 検出下限値は次の通りとする。 $3 \times \Delta N$ $\Delta N$ は放射能の計数誤差とする。  検出下限値未満の測定値は「ND」と表示する。 「-」は調査計画外を示す。
		植物	Bq/kg 生	
		牛乳	Bq/L	
		海産生物	Bq/kg 生	
		土壌・海底土	Bq/kg 乾	
		陸水・海水	mBq/L	
	トリチウム	陸水・海水	Bq/L	
大気浮遊じん中の放射能		核種分析	mBq/m <sup>3</sup>	
		放射性ヨウ素	Bq/m <sup>3</sup>	

## 参 考 資 料

令和 7 年度 玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画

# 令和7年度 玄海原子力発電所周辺環境放射能調査計画

## I 佐賀県

### (1) 空間放射線

#### a モニタリングポスト

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 電離箱式検出器	いきむら 今村局	図1
				ひらお 平尾局	
				くし 串局	
				さくべ 先部局	
				ほかわづら 外津浦局	
				きよどまりさき 京泊先局	
			電離箱式検出器	やかたし 屋形石局	
				だいら 大良局	
				もろうら 諸浦局	
				いりの 入野局	
				てらうら 寺浦局	
				なごや 名護屋局	
				いしむろ 石室局	
				かくら 加倉局	
				よぶこ 呼子局	
				まだらしま 馬渡島局	
				かからしま 加唐島局	
				むくしま 向島局	
				おがわじま 小川島局	
				ふたご 二夕子局	
				やまもと 山本局	
				はたつ 波多津局	
				たの 田野局	
				おうち 相知局	
				まつうら 松浦局	
				たちばな 立花局	

#### b 走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲 (図4)	測定時期
空間放射線量率	走行サーベイ車 (可搬型測定器)	3ルート/四半期 (計 12 ルート)	CsI(Tl)シンチレーション式 検出器	発電所から 5km～30km	毎四半期

(2) 環境試料中の放射能

測定試料	頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析				
				1	2	3	4	γ*	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H	
農畜産物・植物	葉菜	たまねぎ	ちか値賀	○				1				
			のうき納所	○				1				
		きやべつ	とどろき轟木			○		1	1			
	牛乳	年3回	牛乳	さかえ栄	○	○*		○	3	3	1	
				たの田野	○	○		○	3	3		
	穀物	年1回	米	ひらお平尾		○			1	1		
				もろうち諸浦		○*			1		1	
	指標生物	年2回	松葉	なごや名護屋	○		○		2	2		
				のうき納所		○		○*	2	2	1	
	その他	年1回	ばれいしよ	ひらお平尾	○				1			
のうき納所				○				1				
みかん			ひらお平尾			○		1				
			くし串			○		1				
海産生物	魚	年2回	たい		○	○		2				
			かわはぎ		○*	○		2		1		
			えそ		○	○		2				
	無脊椎動物	年1回	なまこ				○*	1		1		
	指標生物	年2回	ほんだわら類	はつたうら八田浦周辺		○*		○*	2	2	2	
	その他	年1回	むらさきいんこがい			○		1				
水	陸水	年4回	水道水	ちか値賀出張所	○*	○	○	○	4	4	1	4
		年1回	水道水	別表1	別表1				5	5	5	5
		年2回	河川水	しれがわ志礼川	○*		○		2	2	1	2
	海水	年1回	表層水	1、2号放水口付近		○*			1	1	1	1
				3、4号放水口付近		○*			1	1	1	1
				1、2号取水口付近				○*	1	1	1	1
3、4号取水口付近							○*	1	1	1	1	

※ : ガンマ線放出核種として、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Cs 及び <sup>137</sup>Cs を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* : <sup>90</sup>Sr を含む核種分析の実施時期

(続き)

測定試料		頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析			
					1	2	3	4	$\gamma$ ※	$^{131}\text{I}$	$^{90}\text{Sr}$	$^3\text{H}$
土	土壌	年1回	表層土	くし 串	○				1			
				九州電力 <small>ちか</small> 値賀寮	○*				1		1	
				別表2	別表2				10		10	
	海底土	年1回	表層土	1、2号放水口付近		○*			1		1	
				3、4号放水口付近		○*			1		1	
				1、2号取水口付近				○*	1		1	
				3、4号取水口付近				○*	1		1	
	計					—				60	29	33

※ : ガンマ線放出核種として、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* :  $^{90}\text{Sr}$  を含む核種分析の実施時期

別表1 陸水（水道水）の採取地点（15地点 令和6（2024）年度～令和8（2026）年度）

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
1	くす 楠浄水場	R6	1
2	せとこぼ 瀬戸木場浄水場	R7	2
3	かからしま 加唐島浄水場	R6	4
4	まだらしま 馬渡島浄水場	R7	4
5	むくしま 向島浄水場	R8	
6	まつしま 松島浄水場	R8	
7	こぼ 木場浄水場	R6	2
8	はせ 波瀬簡易水道	R6	3
9	ひがしぶん 東分簡易水道	R6	3
10	じょう 城簡易水道	R7	3
11	おおくぼ 大久保簡易水道	R8	
12	にしおおくぼ 西大久保飲料水供給施設	R7	1
13	ひなたごう 日南郷飲料水供給施設	R7	3
14	いわたて 岩立飲料水供給施設	R8	
15	たしろ 田代飲料水供給施設	R8	

別表2 土壌（表層土）の採取地点（50地点）令和4（2022）年度～令和8（2026）年度

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
1	やかたいし 屋形石局	R6	3
2	だいら 大良局	R5	3
3	もろうら 諸浦局	R5	3
4	いりの 入野局	R5	2
5	てらうら 寺浦局	R5	2
6	かくら 加倉局	R6	3
7	よぶこ 呼子局	R6	3
8	まだらしま 馬渡島局	R6	2
9	かからしま 加唐島局	R6	2
10	むくしま 向島局	R6	2
11	おがわじま 小川島局	R6	2
12	ふたご 二夕子局	R7	3
13	やまもと 山本局	R7	3
14	はたつ 波多津局	R5	2
15	たの 田野局	R5	2
16	おうち 相知局	R8	2
17	まつうら 松浦局	R8	2
18	たちばな 立花局	R4	2
19	とどろき 轟木公民館	R5	3
20	さし 佐志小学校	R7	3
21	からつ 唐津第1中学校	R7	3
22	かがみやま 鏡山小学校	R7	2
23	ひれふりランド	R7	2
24	きりご 切木小学校	R5	2
25	たけこぼ 竹木場小学校	R5	3

番号	地点名	調査年度	採取時期 (四半期)
26	はだ 半田ふれあいセンター	R7	2
27	はまたま 唐津市浜玉林業 構造改善センター	R7	2
28	いけぼる 池原集会所	R8	3
29	ななやま 七山小中学校	R7	2
30	きたはた 北波多浄水場跡	R5	3
31	さり 佐里地区公民館	R8	2
32	たがしら 旧田頭小学校	R8	3
33	きゅうらぎ 旧巖木小学校 ひろかわ 広川分校	R8	3
34	ひらやま 平山地区公民館	R8	3
35	きゅうらぎ 巖木小学校	R8	3
36	まだら スポーツランド馬渡	R6	2
37	まつしま 松島	R6	3
38	かしわじま 旧神集島小学校	R6	3
39	たかしま 高島公民館前	R7	3
40	くろがわ 黒川コミュニティセンター	R4	3
41	みなみはた 南波多コミュニティセンター	R4	3
42	おおかわ 大川運動広場	R8	2
43	まきしま 牧島コミュニティセンター	R4	3
44	おおつぼ 大坪コミュニティセンター	R4	3
45	まつうら 松浦運動広場	R8	2
46	やましろ 山代コミュニティセンター	R4	2
47	ひがしやましろ 東山代コミュニティセンター	R4	2
48	たきの 旧滝野小中学校	R4	2
49	にり 二里コミュニティセンター	R4	2
50	おおかわち 大川内コミュニティセンター	R4	3

(3) 大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
$^{60}\text{Co}$ $^{134}\text{Cs}$ $^{137}\text{Cs}$	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料(ろ紙)を灰化後、測定	月1回	Ge 半導体検出器 (環境センター内設置)	いまむら 今村局	図4
$^{131}\text{I}$	ヨウ素サンプラで捕集し、回収した捕集材を測定	年1回	Ge 半導体検出器 (環境センター内設置)	9地点 (別表3)	図4

別表3 大気浮遊じん中の<sup>131</sup>I採取地点（県：26地点 令和6(2024)年度～令和12(2030)年度）

番号	地点名(地点)	調査年度						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	いまむら 今村局	○	○	○	○	○	○	○
2	ひらお 平尾局						○	
3	くし 串局			○				
4	まくべ 先部局	○						
5	はかわづら 外津浦局					○		
6	きよどまりき 京泊先局							○
7	やかたいし 屋形石局					○		
8	だいら 大良局	○						
9	もろうら 諸浦局		○					
10	いりの 入野局				○			
11	てらうら 寺浦局			○				
12	なごや 名護屋局		○					
13	いしむろ 石室局				○			
14	かくら 加倉局						○	
15	よぶこ 呼子局				○			
16	まだらしま 馬渡島局						○	
17	かからしま 加唐島局							○
18	むくしま 向島局					○		
19	おがわしま 小川島局	○	○	○	○	○	○	○
20	ふたご 二夕子局	○	○	○	○	○	○	○
21	やまもと 山本局			○				
22	はたつ 波多津局	○	○	○	○	○	○	○
23	たの 田野局		○					
24	おうち 相知局	○	○	○	○	○	○	○
25	まつうら 松浦局	○						
26	たちばな 立花局	○	○	○	○	○	○	○

## II 九州電力

### (1) 空間放射線

#### a モニタリングポスト、放水口モニタ

測定項目	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
空間放射線量率	モニタリングポスト (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	正門南局	図1
				岸壁局	
				ちかぎき 値賀崎局	
				ダム南局	
放水口 計数率	放水口モニタ (テレメータシステム)	連続	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	1、2号放水口	
				3号放水口	
				4号放水口	

#### b 走行サーベイ

測定項目	測定方法	頻度	測定機器	測定範囲 (図4)	測定時期
空間放射線量率	モニタリングカー	年2回 (1ルート)	NaI(Tl)シンチレーション式 検出器	発電所から 5km 未満	第1四半期 第3四半期

(2) 環境試料中の放射能

測定試料	頻度	試料名	地点名 (図2、図3)	採取時期(四半期)				核種分析				
				1	2	3	4	$\gamma$ ※	$^{131}\text{I}$	$^{90}\text{Sr}$	$^3\text{H}$	
農畜産物・植物	葉菜	年3回	ほうれん草	いまむら 今村	○		○	○*	3	3	1	
	牛乳	年4回	牛乳	はまのうら 浜野浦	○	○	○*	○	4	4	1	
	穀物	年1回	米	ふおんじ 普恩寺			○*		1	1	1	
				しもみや 下宮			○		1			
	指標生物	年4回	松葉	敷地内	○*	○	○	○	4	4	1	
	その他	年1回	かんしょ	ふおんじ 普恩寺			○*		1		1	
いまむら 今村						○		1				
海産生物	魚	年2回	たい	発電所から 10km 圏内 の海域	○		○*		2		1	
	無脊椎動物	年2回	いか			○	○		2			
		年1回	さざえ	はつたうら 八田浦周辺			○		1			
	なまこ					○*	1		1			
	海藻類	年1回	わかめ		○*				1	1	1	
	指標生物	年2回	ほんだわら類		○*		○		2	2	1	
水	陸水	年4回	河川水	しれがわ 志礼川	○	○*	○	○**	4	4	1	2
		年2回	ダム水	敷地内		○*		○**	2	2	1	2
	海水	年4回	表層水	1、2号放水口付近	○**	○	○*	○	4	4	1	2
				3、4号放水口付近	○*	○	○**	○	4	4	1	2
				1、2号取水口付近	○**	○	○*	○	4	4	1	2
				3、4号取水口付近	○*	○	○**	○	4	4	1	2
土	土壌	年2回	表層土	岸壁側	○		○		2			
				正門南	○*		○		2		1	
		年1回	表層土	九州電力 いまむら 今村寮	○*				1		1	
		年2回	ダム底土	敷地内	○*		○		2		1	
	海底土	年2回	表層土	1、2号放水口付近		○*		○	2		1	
				3、4号放水口付近		○*		○	2		1	
				1、2号取水口付近		○*		○	2		1	
				3、4号取水口付近		○*		○	2		1	
計				—				61	37	22	12	

※ : ガンマ線放出核種として、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$  及び  $^{137}\text{Cs}$  を測定

○ : 核種分析の実施時期

○\* :  $^{90}\text{Sr}$  を含む核種分析の実施時期

○\* :  $^3\text{H}$  を含む核種分析の実施時期

(3) 大気浮遊じん中の放射能

測定核種	測定方法等	頻度	測定機器	地点名	地点図
$^{60}\text{Co}$ $^{134}\text{Cs}$ $^{137}\text{Cs}$	ダストサンプラで連続捕集し、回収した試料(ろ紙)を灰化後、測定	四半期1回	Ge 半導体検出器 (発電所内設置)	正門南局	図4
$^{131}\text{I}$	ヨウ素サンプラ及びヨウ素モニタで捕集、測定 (モニタリングカー)	年1回	ヨウ素モニタ (モニタリングカー内設置)	10 地点 (別表4)	

別表4 大気浮遊じん中の $^{131}\text{I}$ 採取地点(九州電力)

番号	地点名(地点)
1	発電所口(玄海町大字今村)
2	<small>くしざき</small> 串崎(唐津市鎮西町)
3	<small>ほかわづ</small> 外津(玄海町大字今村)
4	<small>ふおんじ</small> 普恩寺(玄海町大字普恩寺)
5	<small>くし</small> 串公民館(唐津市鎮西町)
6	<small>いまむら</small> 今村交差点(玄海町大字今村)
7	<small>くしうら</small> 串浦(唐津市鎮西町)
8	<small>ちか</small> 値賀取水場(玄海町大字今村)
9	<small>なごみや</small> 名護屋南(唐津市鎮西町)
10	<small>ちか</small> 値賀出張所(玄海町大字平尾)

### Ⅲ 測定方法及び測定機器

調査機関 調査項目		測定法	測定器	
			佐賀県	九州電力
空間放射線	空間放射線量率 (モニタリングポスト)	固定型モニタリングポスト(県・九電)、放水口モニタ(九電)による連続測定(テレメータシステム)	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立アロカメディカル (多重波高分析器付) MSR-R69-22234	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 富士電機 NDS3AAA2-BYYYY-S
	放水口計数率 (放水口モニタ)	「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂原子力規制庁)に準ずる。	電離箱式検出器 14L球形加圧型(N <sub>2</sub> +Arガス) 日立アロカメディカル MSR-R69-21090R1 MSR-R69-22205	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 富士電機 N16E-116 NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償回路付) 日立製作所 ADP-1132
	空間放射線量率 (走行サーベイ車、モニタリングカー)	車載型検出器による連続走行測定 「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂原子力規制庁)に準ずる。	CsI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 シリコンダイオード検出器 (エネルギー補償回路付) ミリオンテクノロジー HDS-101G	NaI(Tl)シンチレーション式検出器 3"φ×3"円柱型 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立製作所 ADP-1132
環境試料中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>131</sup> I ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs	「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令和2年改訂原子力規制庁)及び「放射性ヨウ素分析法」(平成8年改訂文部科学省)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ 多重波高分析器 セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a	高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018 多重波高分析器 セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a
	ストロンチウム 90( <sup>90</sup> Sr)	「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂文部科学省)に準ずる。	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4502	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4602
	トリチウム( <sup>3</sup> H)	「トリチウム分析法」(令和5年改訂原子力規制庁)に準ずる。	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB7	低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 日立製作所 LSC-LB8

(注) メーカー名は購入時。

(続き)

調査機関 調査項目		測定法	測定器	
			佐賀県	九州電力
大気浮遊じん中の放射能	ガンマ線放出核種 ・ <sup>60</sup> Co ・ <sup>134</sup> Cs ・ <sup>137</sup> Cs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 県：ダストサンプラで1か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化 九電：エアーサンプラで3か月吸引し、ろ紙上に捕集後灰化</li> <li>・測定 環境試料中の放射能-ガンマ線放出核種と同様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 応用光研工業 S-3063</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ</li> <li>多重波高分析器 セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ダストサンプラ 富士電機 NAD-TA7C5463C01</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラジャパン GC3018</li> <li>多重波高分析器 セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a</li> </ul>
	放射性ヨウ素 ・ <sup>131</sup> I (固定型ヨウ素サンプラ、可搬型ヨウ素サンプラ、モニタリングカー)	「緊急時における放射性ヨウ素測定法」(令和5年改訂原子力規制庁)に準ずる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 応用光研工業 S-3064 富士電機 NAD-TA7C3412C01</li> <li>アロカ DSM-R60</li> <li>・測定 高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM30-70-LB-C-HJ</li> <li>多重波高分析器 セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕集 ヨウ素サンプラ 日立製作所 DSM-362BU3R1</li> <li>・測定 ヨウ素モニタ NaI(Tl)シンチレーション式検出器 2"φ×2"円柱型 日立製作所 ADP-1122</li> </ul>

(注) メーカー名は購入時。

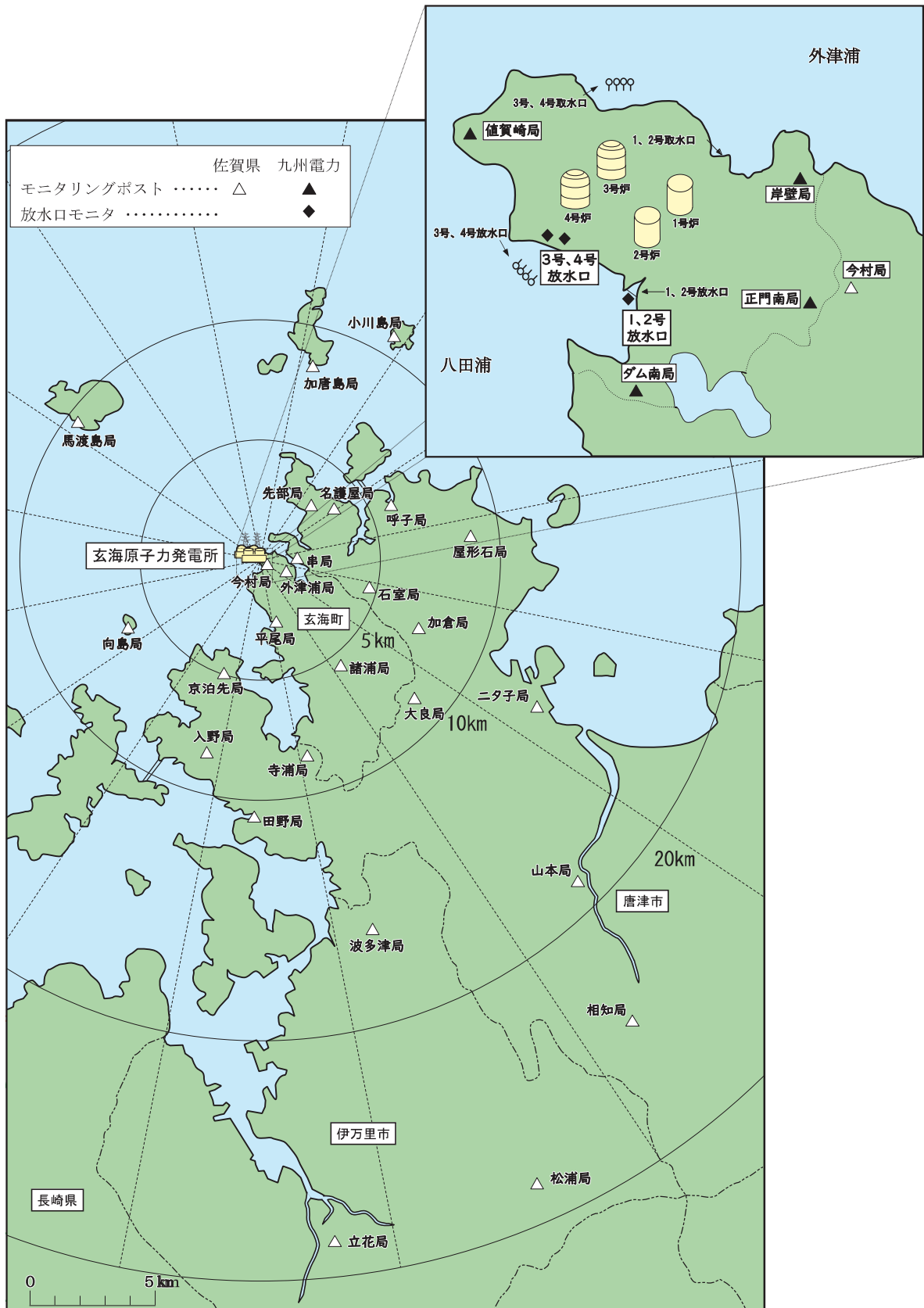


図1 空間放射線測定地点

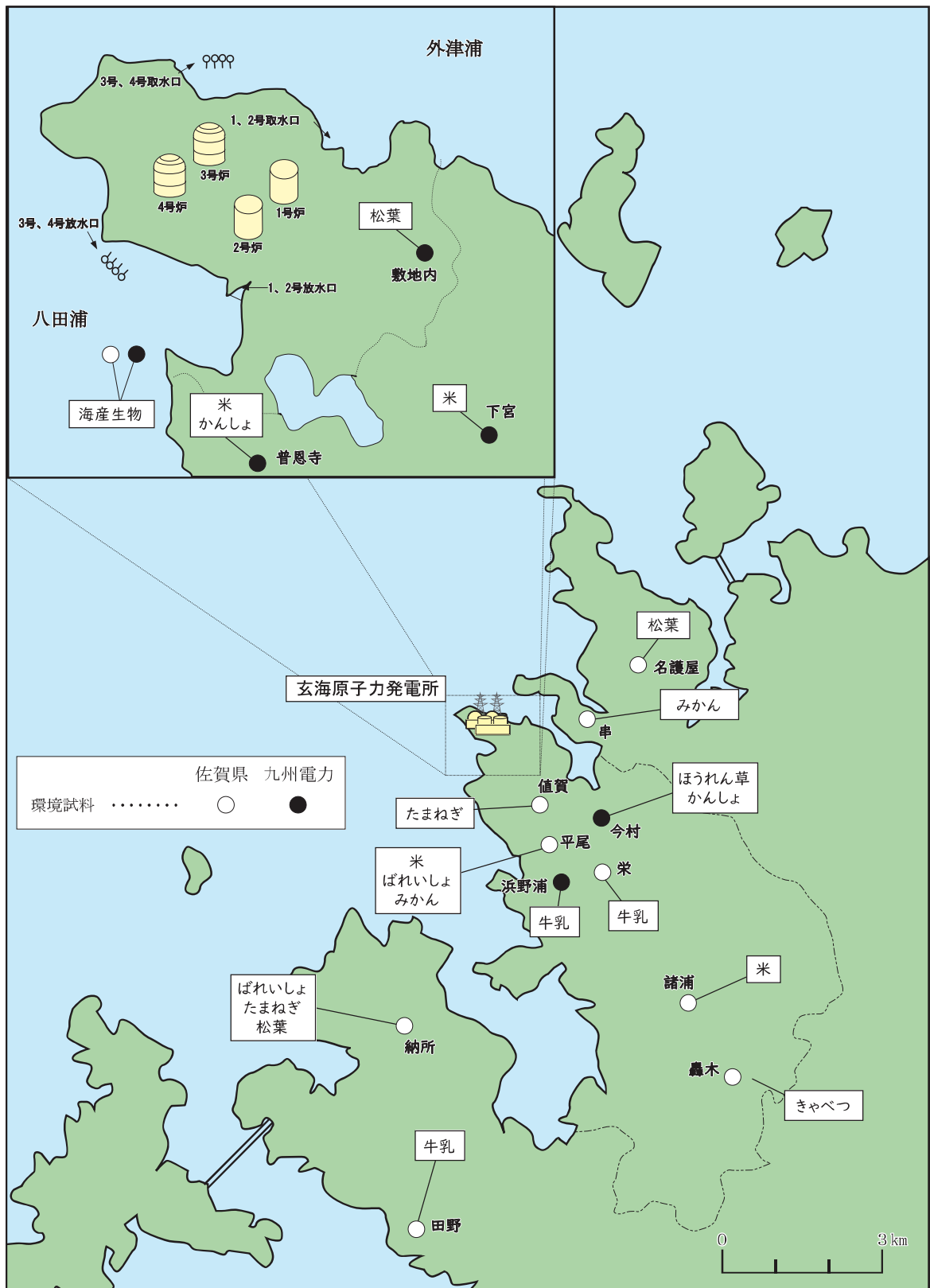


図2 環境試料採取地点（農畜産物・植物、海産生物）



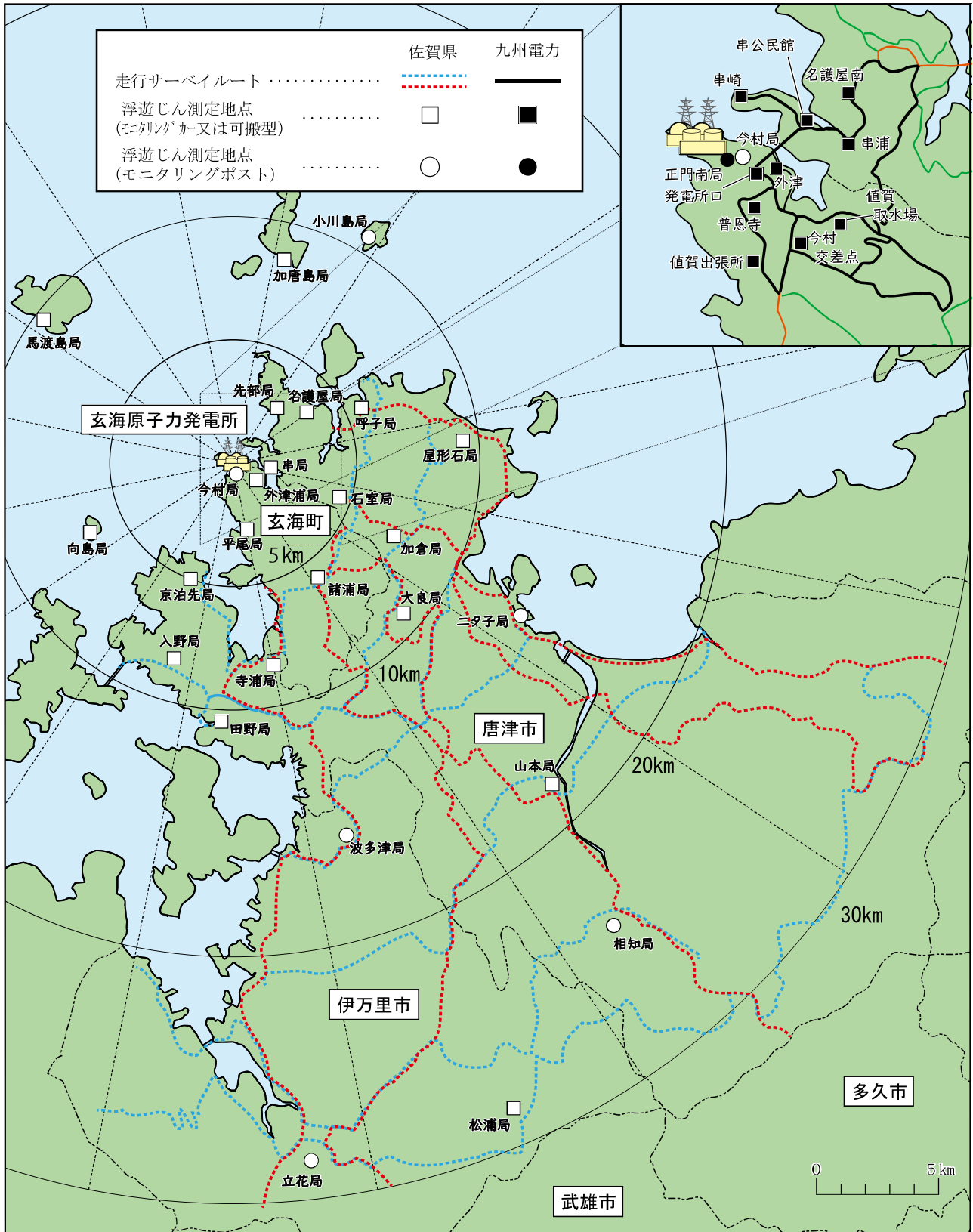


図4 空間放射線等測定地点（走行サーベイ、大気浮遊じん）